

異常時の避難に関する補足説明

緊急時等、車外に出る必要がある場合は、まず、超電導磁石の電流を超電導磁石の外部にある車載の抵抗器で消費させ、1～2秒程度で電流をゼロにして磁力がない状態にします。さらに、対向列車等がないことなど安全を確認してから避難します。

また、超電導磁石については、模擬的な故障を発生させて安全性を確認しており、クエンチが発生しても超電導磁石が爆発することはありません。なお、平成9年の山梨実験線走行開始以来、超電導磁石の故障（クエンチ）が発生したことは一度もありません。

※ クエンチとは、何らかの原因で超電導磁石の超電導状態が失われ、電気抵抗により高熱になり液体ヘリウムが大量に蒸発する現象のことをいいます。